

●主な受入実績

▼中学校

大阪市立西淀中学校／大阪市立文の里中学校／岐阜県大垣市立大垣西中学校／鳥取県湯梨浜町内中学校解放学習会 など

▼高等学校

大阪府立西淀川高等学校／大阪府立松原高等学校／私立灘高等学校／私立きのくに国際高等専修学校／ユネスコスクール研修／アサヒ若武者育成塾 など

▼大学

京都大学／大阪大学／神戸大学／金沢大学／大阪市立大学／大阪教育大学／立命館大学／関西学院大学／龍谷大学／京都産業大学／大阪経済大学／大阪産業大学／阪南大学／追手門学院大学／京都精華大学／埼玉大学／東京学芸大学／東京農業大学／北海学園大学／日本福祉大学／島根大学／大阪民医連医学生ミーティング など

▼海外

韓国司法修習生／中国環境 NGO 研修／タイ環境 NGO 研修／香港 中文大学／国際交通学会 (IATSS) フォーラム研修／北京大学現代日本研究センター／日中共同 SD (持続可能な発展) 人材育成事業 (京都大学)／東アジア若手人文社会科学者ワークショップ／韓国釜山市河西区行政職員／JICA (中東地域管理能力向上 (大気汚染) 研修・モザンビーク工業地帯における環境問題の歴史と取り組み・中国大気汚染防止法・大気汚染対策 II コース等)／グリーンコリア プルースカイ・日本探検隊／ソウル市“グローバルリーダー養成事業”(高校生) など

▼社会人研修 (企業・行政)

環境省／大阪弁護士会司法修習生研修／大阪府環境局／三重県四日市地域防災総合事務所／西淀川区社会福祉協議会／淀川勤労者厚生協会など

▼NGO / NPO など

四日市公害と環境未来館／徳島市 eco リーダー会／シニア自然大学／サロンにしよど／四日市公害市民塾／全国大学史資料協議会／大阪歴史学会／NPO 法人おおさかシニアネット／全国教育科学研究会全国大会／関西自然住宅推進ネットワーク／住民運動資料研究会／徳島県立人権教育啓発推進センター など



●講演・出張授業も承ります

フィールドワークの事前学習や、西淀川に来ることが難しい場合に、学校などを訪問して授業を行うことも可能です。単独の講演会も承ります。お気軽にご相談ください



(費用等は応相談)

●アクセス



クジラの壁画が目印です

新大阪駅から 約 20 分
大阪駅から 12 分

- JR東西線「御幣島」駅下車
①番出口よりスグ
- 阪神電車「姫島」駅より徒歩 10 分



エコミューズ …って何?

西淀川の公害病患者は「手渡したいのは青い空」を願い、西淀川大気汚染公害裁判の和解金の一部を使って 1996 年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。公害経験を後世に伝えるために、西淀川・公害と環境資料館 (エコミューズ) を 2006 年に開館し、研修や学習のコーディネートを行っています。

*本施設は、
環境教育等促進法にかかる「体験の機会の場」認定施設です。

●お問い合わせ先



☎06・6475・8885 [要予約]

F A X ● 06・6478・5885

E-mail ● webmaster@aozora.or.jp (あおぞら財団)

H P ● http://www.aozora.or.jp/ecomuse/

住 所 ● 〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル5F



大阪の大気汚染から学ぶ

西淀川 フィールドワーク・プログラムのご案内



西淀川をフィールドとして

エコミューズでは ESD (持続可能な開発のための教育) の観点から、
未来を考えるために、対話的な学びの場をコーディネートしています。

SDGs 達成に
向けて学ぶ

環境・貧困・人権・平和・開発などの地球規模の課題解決のため国際的に合意された「持続可能な開発目標 (SDGs)」。未来に向けてどう目標を達成するかを考えます。

公害の経験
から学ぶ

西淀川公害裁判は「地域再生」で和解をした最初の裁判です。公害被害を改善するため声を挙げ、調査や規制、救済を求めて対話を作り出した市民の経験から学びます。

多様な視点
から学ぶ

時代背景や立場の違いで物事の見方は異なります。様々な利害関係者 (ステークホルダー) の意見を聞いたり、ワークショップを取り入れたプログラムで学びを深めます。

講師



講義テーマ
公害反対運動、和解時の折衝
森脇君雄
(西淀川公害患者と家族の会 会長、
西淀川公害裁判原告団長)



講義テーマ
公害裁判の役割
村松 昭夫
(弁護士、西淀川公害患者訴訟弁護団、
あおぞら財団理事長)



講義テーマ
企業側の公害裁判対策
山岸公夫
(元：原因企業 訴訟担当)

ガイド



林 美帆



栗本 知子

(エコミューズ スタッフ)

プログラムの企画からフィールドワーク案内、西淀川公害の概要説明、ワークショップまで行います。

*エコミューズ：あおぞら財団附属 西淀川・公害と環境資料館の愛称

- ✓ 専門性を有したガイドが担当します
- ✓ 学習者のニーズに柔軟に対応できる人的ネットワークを有しています
- ✓ 公害患者をはじめ、元企業担当者、行政 (国土交通省、大阪府、大阪市)、弁護士などの多様な語りをコーディネートいたします

※ 他にもご希望に応じた講師・ガイドのアレンジが可能です。

大阪が日本一だったなんて知らなかった！

大阪と大気汚染公害



左上) 尼崎にあった関西電力火力発電所の煙突と大気汚染 (1963)	右上) 裁判の原告となった公害患者はビラを配り世論に訴えました (1989)
左下) 第1次地裁判決には支援者6000人が集まりデモ行進 (1991)	右下) 公害地域再生を願い、公害患者が描いた再生マップ (1991)

■ 煤煙は繁栄のしるし

大阪は「煤煙の都」とよばれる工業の街でした。特に関東大震災後は「大大阪」と呼ばれるほど、日本最大の都市だった時期がありました。太平洋戦争の戦災で大打撃を受けますが、朝鮮戦争の特需・高度経済成長を経てあらためて発展しました。しかし、戦後の石油化学工業や燃料転換が、亜硫酸ガスを大量にまきちらし、ぜん息などの呼吸器疾患を引き起こすなど、人々の体をむしばんでいきました。

■ 20人に1人が公害病患者

大阪府は、1981年末まで公害患者数日本一 (29,323人) で、四日市市がある三重県 (1,007人) よりも、人口が多い東京 (28,863人) よりも多かったのです。その中で特に患者が多かったのは、大阪市西淀川区でした。1976年6月の時点では、西淀川区の人口 95,949人に対して、4,910人の公害病認定患者がおり、約20人に1人が公害病患者だったことになります。

■ 都市部で大気汚染が深刻化

都市部の大気汚染の原因は、工場の排煙から自動車の排気ガスに移り変わっていきます。公害認定患者数はピーク時には全国で107,207人 (1988年末) おり、東京都44,096人、愛知県6,993人、大阪府34,576人という、都市部での大気汚染が深刻化していたことを示しています。

■ 公害裁判から公害地域再生へ

西淀川大気汚染公害裁判は、工場の煙と自動車排ガスによる複合大気汚染の改善を目指した裁判 (1978-1998) でした。裁判は原告である公害病認定患者が勝利し、企業と国と和解しています。裁判を契機に様々な公害対策が講じられ、大阪の大気汚染は改善しつつあります。

プログラムの流れ

1 見る(フィールドワーク)

大気汚染公害の改善がどのように図られ、改善しているのか。西淀川の「今」を五感で感じます。

2 聞く

(レクチャー&アクティブラーニング)

西淀川大気汚染公害について基本的な知識を講義します。ロールプレイやシュミレーションなどの教材もあります。

3 交わる(語り部)

公害の被害者だけでなく、行政・企業・弁護士など、様々な立場の人たちの生の声を聞きます。

4 ふりかえる

ここまで学んだことをふりかえり、共有する時間をとります。ふりかえりは、学びを「自分ごと」にする過程に必要な時間です。

それぞれの現場や生活に活かす

オススメしたい関連資料

ウェブサイト

『公害 みんなで力を合わせて—大阪・西淀川地域の記録と証言—』
<http://aozora.or.jp/nishiyodogawakougai/index.html>

エコミューズの展示パネルをウェブで公開しています。様々な立場の人がどう行動したかがわかります。

『記録で見る大気汚染と裁判』
<http://nihon-taikiosen.erca.go.jp/taiki/>

日本各地の大気汚染公害裁判の概要および裁判資料が公開されています。西淀川大気汚染公害裁判のことも掲載されています。



書籍

『青い空の記憶—大気汚染とたたかった人びとの物語—』(教育史料出版会)

『西淀川公害の40年 維持可能な環境都市をめざして』(ミネルヴァ書房)



プログラム例 (半日コース: 4時間×徒歩の場合)

プログラム料 40,000円
(ガイド2人同行)

13:00 出来島駅(阪神なんば線) 集合&オリエンテーション
 …今日のコースのねらいと見学の心得を説明します。

1 見る(フィールドワーク)

- ・43号線で公害対策を見つける。PM2.5の数値もリアルタイムで!
 \大阪府大気汚染常時監視のページをスマホでチェック!/
 ・デイサービスセンターあおぞら苑で地域再生の碑を見学
 ・工場と住宅の近さを体感、地盤の低さなど地域の課題を体感
 ・街を行き交う人に突撃インタビュー など



14:50 あおぞら財団(エコミューズ)に到着

15:00 2 聞く 西淀川公害についてのレクチャー

クイズや写真を活用しながら、基本情報を学びます。



15:30 3 交わる(公害患者の語り部)

患者さんのお話を聞いた後は、感想を共有し質疑応答を行います。



16:15 4 ふりかえる

一連のプログラムを通じ、見たこと、聞いたこと、考えたこと等をふりかえます。

少人数(2~14人程度)の場合は徒歩やタンDEM自転車の利用も可能です。
(大人数の場合はバスとなります)

17:00 解散

…あおぞら財団(エコミューズ)から御幣島駅(JR東西線)は徒歩5分です。



※タンDEM自転車・バスの料金は別途必要です。

基本コース

環境・大気汚染公害を学ぶ

西淀川大気汚染公害裁判を経て、公害対策で改善された街をフィールドワークします。住工混在が残りつつ住民が増えている西淀川で、様々な立場からの語りを聞き、「みんなが力を合わせて」改善してきたこと、いまだに解決されない問題点を学びます。

見学ポイント

- ・国道43号または国道2号歌島橋交差点
- ・元公害検査センター
- ・元原因企業 など



語り部／講師

- ・公害患者
- ・元企業担当者
- ・弁護士
- ・行政（国土交通省、大阪府・大阪市）ほか



たとえば こんなテーマも...

テーマ1

人権の視点から学ぶ

公害病による体調の悪化は、通学や仕事に悪影響をもたらし、医療費は生活を圧迫しました。公害病や補償制度についての無理解や誤解から差別をうけることもありました。人権の視点でまちをフィールドワークします。

見学ポイント

- ・千北診療所、西淀川公害医療センター
- ・ハンセン病療養所「外島保養院」跡記念碑 など

テーマ2

市民性教育の視点から学ぶ

公害対策を具体的にすすめたのは行政と企業です。行政が規制を、企業は技術革新や国際基準を取り入れ、公害に対応しました。それらの対策の裏には市民の声がありました。市民として問題解決のためにできることは何かを学びます。

見学ポイント

- ・デイサービスセンターあおぞら苑
- ・大野川緑陰道路
- ・大野せせらぎの里 など



テーマ3

防災のまちづくりを学ぶ

西淀川でおきた公害の被害は、大気汚染だけでなく、工業用水のくみ上げによる地盤沈下もその一つです。0メートル地帯の西淀川の津波・高波対策についてのフィールドワークをしながら、防災のまちづくりを考えます。

見学ポイント

- ・神崎川または淀川
- ・防潮堤
- ・街中の標高表示 など

参加された方の声

レクチャー、屋外でのフィールドワーク、施設や企業見学などがバランスよく入っており興味深く学ぶことができた（企業研修）／きれいな空気にするまでにどれだけの人の努力や苦労があったのかと想像し、感動しました。（行政職員研修）／公害患者ご本人の語りは、学生の心に響く重みがあり、お話の内容だけでなく、声や表情などから様々なことを感じ取ったようである。（大学教員）／公害についてはなんとなく教科書で読んだことがあるというレベルの知識しかなかったが、「次世代のために」と語る患者さんの姿や公害から再生して環境が整備されている町の姿を見ることで、公害問題がより身近に感じられ、当事者意識を持つことができた。（高校生）／公害問題は、過去のことではないんだと思いました。（高校生）／自分が好きで公害病になったわけじゃないから裁判をしたという所が心に残った。（中学生）

ゲストハウスを使って
更に充実！（2泊3日）



あおぞら財団が運営する姫里ゲストハウス「いこね」をご利用いただけます（定員10人）。フィールドワークの前後に参加者交流の場としてご活用いただくことも可能です。様々なステークホルダーの視点を学ぶためには複数日が必要です。ゲストハウスを拠点にした複数日型の企画もオススメです。

1日目

オリエンテーション
ねらいの設定

ワークショップ

公害に関わる複雑な状況への理解を深めるオリジナル教材があります。
（ロールプレイ・シミュレーションなど）

（夜）交流会

2日目

フィールドワーク

レクチャー（語り部）

※専門家の講演を組み込むことも可能です

3日目

ふりかえり

